

中道北小学校移転 下区自治会説明会 会議録

日 時	平成28年9月1日(木) 午後7時30分～8時50分		
場 所	上曽根下区公民館	当日参加者数	15人 (報道含)
教育委員会	長谷川教育長・数野教育部長・嶋田教育総室長・深澤総務課長・村田総務課課長補佐・土橋総務課係長・鷹野総務課係長		

1 開会

2 教育長あいさつ

3 住民説明会の経過の説明

4 候補地とその理由の説明

5 意見交換

住民 資料5ページの参考の部分については、違うのではないかと。配電線0.0011ミリテスラでリニアが0.0014ミリテスラとなっているのでリニアのほうが大きいのではないかと。

教委 0.0014ミリテスラとなっているのは、リニアの高架下23.5mであるが、実際のリニアの高架橋は約30mの高さになることから、この数値よりも低くなるということである。

住民 この資料を見させてもらおうと、北側へ誘導しているように感じられるがどうか。

教委 そのようなつもりはない。あくまで現状の比較として載せさせていただいた。そう感じているのかもしれないが、現状を載せたつもりである。

住民 Aエリアのできない理由に、国の事業の対象地域でありとなっているが、リニア中央新幹線は国の国家プロジェクトではないのか。国家プロジェクトでありながら国の事業のためにできないというのはおかしいのではないかと。

教委 Aエリアにつきましては、児童館などがあるので協議をした。リニアについては、他の法律を優先する法的措置があるので、リニアは道路と同じように通すことが可能な事業である。小学校についても大事な事業であるが、特別扱いにはならない。この地域については非常に難しいと聞いている。

住民 7ページの比較では、集団化した広い農地の一部を転用することとなるため、農地分断を制限する法の趣旨から除外が難しいが、他に場所が無ければ協議可能となっているがそれはどうということか。先程の話と矛盾しないか。

教委 Aエリアについては、国の事業が行われているので終了後8年を経過しないと農振の除外ができないと農振法の中で規定がある。南側の地域については、農振農用地域となっているが、他に適した場所がない、例えば、大多数の方の意見が候補地案は絶対駄目ということであれば、こちらの側も協議可能であるということである。Aエリアとの位置づけが少し違っている。

住民 この地区には地権者が10人いる。エリアの中では一番多い。

住民 学校の候補地案とリニアの本線の両方に土地がある。リニア本線の方ほどの位の土地がかかるのかわからないが、学校用地の方は400坪くらいかかると思われる。JRとも話をしたが、リニアのイメージを見たときに、JRが住民に100%話をしているのか不審に思った。今回、この小学校が環境の問題で中央道の南側に行くのであれば、リニアに反対するつもりである。この資料を見ると中央道の北側ということで、自分に土地があるからいうわけではないが、妥当の線ではないかと感じている。これからJRと協議をしていくが、騒音や電磁波の問題など素人であるので、実際どうなるのか見当がつかない。自分が勉強不足といわれればそれまでであるが、リニアが地元を通らないのであれば大賛成であるが、地元を通るのでそんなことはいつてられない。小学校が中央道北側でも南側でも構わないが、現在の小学校の処分はどうなるのか。

教委 現在の小学校のグラウンドを約22mの幅で横断する。その部分だけはJRが買い取るということになる。それ以外の土地については、甲府市のままである。跡地利用については、まだ話すことが出来ない。

住民 跡地には特別養護老人ホームを作ってほしい。上曾根のこの地域の人を特別優先で入れるようにしてほしい。もうひとつ、降矢商店のところの大堀川にかかる橋が太鼓橋になっていて、見えにくいので何とかしてほしい。JRと交渉しようと思っている。

騒音も基準以内、電磁波も問題ないといってもリニアが通らなければそんな心配はしなくていいわけだから、そのくらいの置き土産してくれてもいいのではないかと思う。

教委 教育委員会には権限がないが、意見については記録して伝えていく。学校の移転先が決まれば、通学路についての整備など周辺整備について市長部局と協議していく。

住民 堰を改修したときに水利組合が水利権を県に売った。今年から水路には水を通さないことになったので、田んぼにはならない。できれば水路を埋めて道路にできないものか。

住民 今年から水は永久的に流さないことになった。水利組合との交渉で道路にできるのではないか。

教委 移転先が決まらなると周辺整備の話も出来ないなので、移転先を決めることを最優先に考えている。その次の段階として、現在北小学校に通っている保護者の方に、学校に不足しているも

のなどを聞いて、学校建設にいかしていきたいと考えている。例えば、障がいをもつ児童が入学し、歩行が困難であれば階段を上ることが出来ないのに、エレベーターが必要であるなど、細かな学校そのものの整備や周辺整備について意見を聞きたいと思っている。

住民 中央道の北側と南側の問題であるが、当初、北側ということで示していたが、下曾根の一部の人達、特に一人の意見が多かった。4回とも説明会に行っているが、景観の問題については、候補地案の真ん中辺りに畑があり、そこから中央道の北を見れば南アルプスも見えるし、北側には八ヶ岳も見える。立ってみたら全然見えないといっていたが、畑仕事をしていても見える。

教委 一人の意見というわけではなく、北側に30mのリニアの高架、西側には国道の土手、南側に中央道が確かにあるので、教育委員会としても心配をして現地を見に行った。結論として、現在の北小学校に行ってみると、すぐ隣が6mの国道の土手があるが、土手が近くて圧迫感をおぼえるのかといえば、そんなには圧迫感はないと思っている。

住民 農地の多くが候補地案の近辺にあるが、圧迫感は全然ない。

教委 候補地案は路面から少し低くなっている。今の北小学校で、横に6mの国道の土手があっても、2階のベランダに出ると国道の路面と同じ位の高さになるので、2階、3階は景色が良い。周りの山も見える。防災ハザードマップで見るとこの一帯が水害のときの浸水想定が2m～5mであるので、地盤を上げてそこへ3階建て位のものを建てれば、今の小学校よりもっと良い眺めになると思う。

住民 北側で大賛成。

住民 最初から説明会に参加しているが、上曾根地区というのは中間点であり、白井の方々、下曾根の方々からいろいろ意見を聞いたが、中間ということで、本当であれば少く離れても許せるかなと2回目の説明会位のときに話をしたが、実際にこのようなかたちになってきた場合に、何がというと、要望しかないと思っている。それで、今回、この自治会がはじめての説明会ではないと思うが、各自治会を回ってきて、その中で6ページの測定値を見た限りであれば、測定をどのようにしたかはわからないが、数字的に見た場合には北側でも良いかと思うが、これが同時に何時頃一緒に測ってこの数値が出たのかというのが疑問である。前から言っているリニアのフードをつけるということを何回も要望しているが、そのような話も各自治会から出ていると思うが、教育委員会としても県にどのくらいまで話しているのか聞きたい。

教委 測定の関係については、午前の9時台から1時間半位かけて測定した。同時に測定は出来なかったもので、1箇所あたり10分間計測した。その中で1分間ごとの最大値の範囲を示している。それが妥当なのかというと、教育委員会ではある程度カバーできているのではないかと考えている。実際に1デシベル、2デシベルの違いがどの位違うのかは、音の数値の範囲でしか説明することができない。フードについてであるが、JRと北小学校移転について協議を行なっている。各地区を回る中で、騒音の問題が一番大きいというところも多々あったので、教育

委員会としてもJRに対してフードを設置して騒音対策をしてほしいと話をしているところである。ただし、JRから設置についての明確な回答はもらっていない状況である。

教委 教育委員会と協議を行なっているJRの職員が、責任ある回答する立場ではないので、答えることができないということだと思うが、粘り強く交渉は続けている。音の関係であるが、数値について北側の方を有利にするための数値ではないかという話をされた。中央道南側のD地点の測定値で61.2デシベルとあり、ここの数値が一番高いのはおかしいではないかと言われたが、ここは西側を通る国道が上りになっているためエンジンを吹かすので大型車両が通ると結構大きいと説明した。

住民 納得するのは測定する段階で、10分間測るというのはわかるが、時間をずらしていること自体が、もともと4ヶ所で計測するのであれば同時に4ヶ所計測して示さなければ、地域の人達は納得しないのではないかと思うし、この数字だけ見れば納得すると思うし、こういう質問がなければ時間を変えて測っていることもわからない。同時に計測しているのであれば、良い数値であると思う。

教委 そのような指摘も受けたので、説明会でも説明をしている。例えば通勤時間帯と夜間のあまり車両が通らない時間帯で比べているわけではなく、どうしても移動しながらの計測になるが、午前中の1時間半位の間であれば公平に測れるのではないかと思い計測した。

住民 各地域を回った反応はどうだったのか。

住民 白井の方は児童館の近く、下曽根の地域は中央道の南側という意見が多かったのか。それともこの資料で了解をとるような説明をしたのか。

教委 この地区が11番目で最後となるが、南側の地域については中央道南側の意見が多かった。中には自治会として意見は集約できないというところもあった。

教委 いろいろな考え方があるので、地区として集約してもらっては困るというようなことを言った地区も南の方であった。

教委 南の自治会は中央道よりも南側という意見、要望があった。中央道より北側については、児童館近辺のほうが良いといった自治会もあったが、それ以外については、大体候補地案でよいという状況であった。ほぼ半々くらいでどちらかに偏っているわけではなかった。

住民 1月の候補地を示してから半年以上たっており、小学校、保育園の保護者の説明会に参加したが、毎回同じ内容である。今回、何か進展があるのかと思っていたが、また同じであるので、いつ候補地を絞るのか、決定権は住民にあるのか教育委員会にあるのかわからない。

教委 今回の説明会をすることになったのは、1回目の説明会ではいろいろな意見が出されたが、

教育委員会で具体的な案があるのなら示してほしいということで、1回目の住民の皆さんの意見を参考して、尊重する中で総合的に検討して、2回目の説明会で提示をした。そうするとポイントで示したので、騒音の問題、磁場の問題などいろいろな課題が出てきた。2回目についてもいろいろな意見が出た。3回目、4回目になると参加者も少なくなり、最初100名近くいた参加者も50人台までに落ち、教育委員会の候補地案に反対する人達が多くなってきた状況がある。問題点を指摘する声が多かった。

6月に自治会長に集ってもらい、候補地案についてどうか聞いたところ、まだまだ住民の皆さんの理解が出来ていない。説明不足の部分があるのではないかとの指摘があり、説明会をしてほしいという意見があった。中道公民館では人が集まらないとのことから、自治会別に説明会をしたらどうかというのが発端である。

基本的な姿勢であるが、教育委員会は総合的に考えて候補地案を示したが、仮に、この学区の自治会説明会で、大方の方が候補地案では駄目だと、皆さんが反対しているということであれば、白紙撤回も辞さないという気持ちで行なっている。最終的には皆様の状況を判断して、教育委員会として移転先を決めていく。期限については最終的には公平に教育委員の教育委員会での審議で決定していくが、今回の自治会説明会の会議録や資料の作成があるので、詳細な日程は決まっていないが、なるべく早く決定していきたいと思っている。

住民 6月6日に自治会長が集まってその席で、ここで決めてくださいという話であったのでそれはできないと、下区の代表として下区の民意がわからないという話をさせてもらった。そして、他の方から住民説明会をしてほしいという話からきている。先程の意見のようにどこでどのように決めるのかというのがわからない。

個人的には、今日集ってもらい下区の民意を聞いて、何かあれば賛成か反対かあるのかと思ったが、そうではなさそうであるので、どこで結論付けるのか不安がある。上曾根地区については、北小の問題の他に、リニアが通る問題が残っている。下曾根、白井の人達は、リニアが通らないから、北小の問題だけだが、上曾根地区はリニアが通るので、北小の問題もあるが、自分の生活がかかっている問題のほうが北小の問題よりも大きい。道筋をはっきりしてもらえれば、下区としての立場も言えるのではないかと思う。

教委 各地区別の会議録を作成し、公平な立場で資料を作り、教育委員の教育委員会という会議の中で決定していく。今後、説明会を開くということは想定していない。ただし、移転先が決まった後は、学校の機能などの要望は聞いていきたいと思っている。

住民 住民説明会や自治会の説明会を開催し、候補地についていろいろ問題が出てきていると思うが、それに対する解決策を示されていないが。

教委 各地区で説明会をしているが、景観、騒音、磁場の問題や浸水の問題、特に中央道北側の皆さんについては、教育委員会でも配慮しているが、学校は避難所としての機能を持っているので、避難所として使いやすい場所、学校環境を最優先に考える中でもそこを考えてほしいといわれている。

この資料の中で、大きな課題となっている磁場の問題については、国際的な基準と比べても

はるかに測定値は少ないと示されているので大丈夫であると思う。

騒音については、外での測定値を載せているが、学校は南側に教室があり、北側に廊下があり、さらに壁があるので、外で感じた音と中に入って感じた音は随分違う。教室のベランダに出ると国道の音がうるさいと感じるが、教室へ入ると音が減り、真ん中位まで行くとほとんど気にならなくなる。北側から来る音については、校舎の壁があり窓から音が入ってくるが、廊下と教室の間には、上下に小さい窓が付いているボードになっているので、教室の中はかなり音が減ってくる。騒音については技術的なものでクリアできると考えている。

ハザードマップに関係する問題であるが、浸水想定2m～5mであるが、これは地盤を上げて3階建て位のものを建てることによって、かなり解消できるのではないかと考えている。それぞれの課題について一応の回答をしている。

住民 それを書面であれば、もっと納得してくれる人が増えてくるのではないかと思います。

教委 それを記載して皆さんに見せるのが良いが、同じ資料で見たいという点もあるので、この資料で説明会を行なっている。

教委 公平な視点で、この資料を作成したつもりでいる。説明や質疑応答の中で回答している。

住民 候補地案が一番良いという認識であれば、公平な目で見てもらうことも必要であるが、納得してもらうためにはわかりやすい資料が必要であると思う。

教委 これまで説明会をする中で、説明会に参加してくれたかたの意見を集約しているが、下区についてはどのような集約をしてよいのか。

住民 地権者もいるので賛成が多いのではないかと。

住民 候補地案は中央道のところまで用地となるのか。

教委 中央道の横に側道があるが、側道の手前までを考えている。

教委 地権者ということではなくて、客観的にみてどうなのか。

住民 場所的にはそういうことではなく、要望を聞いてほしい。フードなど諸々のことをやっていくとかたちの中でないと賛成できない。今から通う子ども達の学校であるからそのことを踏まえての要望ということである。フードを架けることなど要望を満たしてあげなければ賛成できないということ。

教委 賛成できないというのは、リニアが通ることに賛成できないということか。

住民 リニアは反対してもしょうがない。

教委 ここで皆さんから出た要望などについては、J Rや県にこのような意見があるということをお知らせしたいと思う。この場で、教育委員会が出来るということをお断りする立場ではない。出た意見については伝えていくのでよろしくお断りしたい。下区の中では意見の集約は難しいということか。

住民 地権者が10人いるから10人は賛成する。

住民 要望を聞いてほしいということで反対ではない。それは今からの子ども達のことを考えてのこと。

住民 要望がかなえられなければ反対ということか。今からのことであるのでわからないではないか。

住民 それをしてほしいということ。場所的には前々から言っているように、白井の方々、下曾根の方々のことを考えれば中間点がよいということをお断りした。それに対して下曾根の人達は、教育委員会と市役所は上曾根の人達の言いなりになるのかと言われ、それを聞いて何を言っているのかと思った。同じ中道の中でなぜこんな喧嘩をしなければならないのかと思った。距離を考えていくと多少なり100m、200mいっても白井の方々は納得すると思う。ただ、上曾根地区は中間点であるのであまりいえる立場ではないということをお断りに言ってお断り、要望を聞いてほしいということである。

教委 地区全体での集約ということはここで出来るはずがないので、ここにいるの方々の中で、候補地案について明らかに反対の方がいるかどうか確認したい。

住民 それは言いにくいのではないかと。

教委 賛成の方で手を挙げられる方はいるのか。

住民 若い人からすれば、なるようにしかならないと思っている。なぜ手を上げたかというところ、中立的な立場で、一番距離が今の小学校と変わらないただそれだけである。候補地案に土地を持っているが、それは全然関係ない。客観的にみて候補地案が一番良いと思うが、ただそこでもよいというわけではなく、それなりに対策をしてもらいたい。例えば堰が水路として使わないのであれば、蓋などをして落ちないようにするなど、そういう要望をできるだけ通してもらいたい。ただそれだけである。先輩方は地域的なことや感情的なこともあると思うが、若い人はそのようなことは一切関係なく、利便性しか求めている。本当だったらAエリアは児童館が近いので良いという考えもあるが、要望を聞いてくれる前提で候補地案だったら良いと思う。

教委 下区については様々な意見がある中で集約できないということで、説明会を終了させていただく。

今後については、11自治会で出された意見を判断材料に、移転先を決定していきたいと考えている。

6 閉会